

平成24 年度愛知県がんセンター公開講座(第7回)
「口の衛生ががん治療に必要なわけ」
= 平成24年11月11日(日)開催 = のご案内

< 講師からのメッセージ >

「がん治療が引き起こすお口の症状と対策」

一見無関係に見える口内の症状や衛生状態とがんの治療についてわかりやすく説明したい
と思います。乞うご期待。

中央病院 外来部 部長 堀尾 芳嗣

「とっても大切！おくすり手帳 ～歯医者さんに見せましょう～」

なぜ歯医者さんでおくすり手帳？と思われるかもしれませんが、おくすりの中には、歯を抜いたりすることで重大な副作用を起こすものもあります。病院でも保険薬局でも歯医者さんでもおくすり手帳を見せましょう。病院や保険薬局からのおくすり手帳の情報があれば歯医者さんも安心して治療することができます。おくすり手帳の使い方、大切さについてわかりやすくお話ししたいと思います。

中央病院 薬剤部 薬剤師 立松 三千子

「お口のセルフケア ～症状別に～」

がん治療による口腔粘膜炎などのお口の合併症は放置されたままになることが多く、痛みにより摂食障害からの栄養状態の低下を起こします。歯磨きなども不十分になり、さらに全身状態の低下や免疫力の低下が進めば、お口の中の細菌の増殖が全身的な合併症の原因にもなり、がん治療の完遂を妨げます。お口の合併症は、お口の衛生の改善によって減少できるものであり、適切な歯科治療やセルフケアによってお口の衛生の改善や維持は可能です。スケジュールどおり治療完遂するために、お口に関連した副作用とセルフケア方法を紹介したいと思います。

中央病院 頭頸部外科部 歯科衛生士 高松 磨由子